

P コンエース施工要領書

1. P コンエースの特長.

P コンエースは、P コン・木コン等の穴埋め化粧材として開発した、締固めタイプのセメント系特殊化粧モルタル材です。

- ① 水で練り混ぜるだけのプレミックスタイプです。
- ② 硬化収縮性が小さく耐久性に優れています。
- ③ 硬化後殆どひびわれが生じません。

2. 用途

P コンエースは、耐久性が要求とされる P コン・木コン等の穴埋め化粧用の充填材です。

適用部位	P コン・木コン の除去部
適用下地	コンクリート、モルタル
適合仕上げ	P コン・木コン等の穴埋め
可使時間	混練り後は、60 分以内に使い切ってください。
適用塗厚	コーン形状 $\phi 30$ 、 $25 \cdot h25$ (mm) 等フリーサイズ
荷姿	10 kg 紙袋
練り上がり量	5.9 ℓ / 袋 1 m^2 = 5 個
標準施工数	430 か所 / 袋

3. 施工手順

① 下地処理	P コン・木コンの穴埋め部分のレイタンス除去を行ってください。 セパレーターに錆びがある場合は除去してください。
② 下地清掃	水洗い等を行い、下地面の清掃を行ってください。
③ 混練り	標準配合(調合)により手練り 又は かくはん機等で行ってください。
④ 充填	施工部位に P コンエースを充填して、しっかりと突き固めてください。
⑤ 仕上げ	P コン鋺等でしっかりと押さえ、表面を平らに仕上げてください。
⑥ 養生	塗り付け後急激な乾燥・凍結がないように適切な方法で養生を行ってください。

P コンエース施工要領書

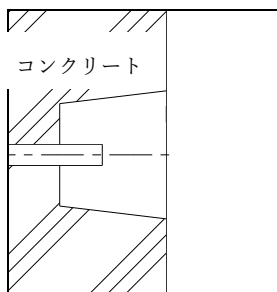
4. P コンエースの打ち込み・仕上げ要領

P コンエースは1層目、2層目と下記の方法で行なってください。

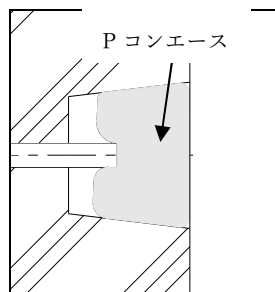
※ 施工部位が乾きすぎている場合、少し湿る程度に水しめしを行ない、浮き水のない状態で施工してください。

1層目

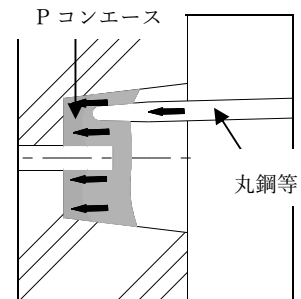
- ① 施工部位のレイタンスやセパレーターの錆びの除去を行い、水洗い清掃を行う。
- ② P コンエースをコンクリート表面まで軽く入れ込む。
- ③ 丈夫な突き棒（丸鋼等）でセパレーターの金具周りに隙間ができないよう突き込み、しっかりと突き固める。



下地処理、錆の除去、清掃



表面まで軽く入れ込む

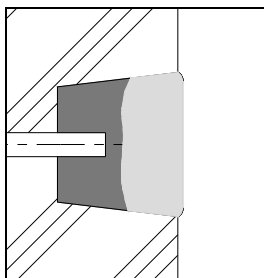


金具周りに隙間ができないよう突き込み固める

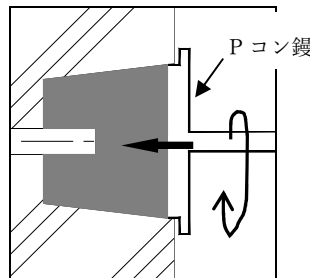
2層目

- ④ P コンエースを過不足なく入れ込む。
- ⑤ P コン鋺を十分に押し込んで締め固める。
- ⑥ 表面を平らに仕上げる。
- ⑦ 施工後は急激な乾燥・凍結がないように適切な方法で養生を行う。

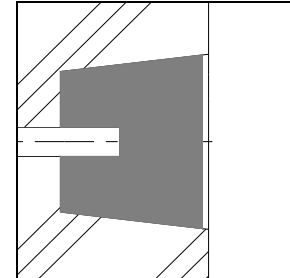
※仕上げの際に**過剰な摩擦**をかけた場合、表面が**黒くなる**場合があります。



過不足なく入れ込む



P コン鋺で押し込んで締め固める

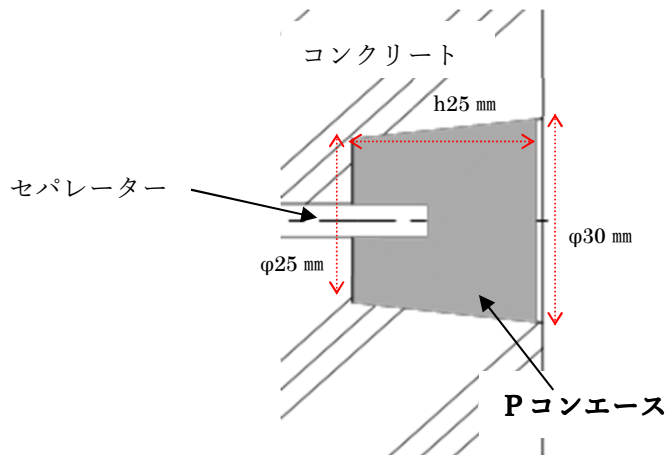


表面が平らになるよう仕上げる

※ **練水量の過多**や**突き締め**の不足は、**乾燥収縮**が大きく生じて**隙間**のできる原因になり、**セパレーター**が**錆びて浮き上がり**や**脱落**の原因につながるのをご注意ください。

P コンエース施工要領書

5. 仕上がり



※ 標準使用量に用いた P コン跡のサイズ (mm) : 表面 ϕ 30 mm、底面 ϕ 25 mm、h 25 mm

6. 使用上の注意

- ① P コンエース取扱いに際しては、安全データシート (SDS) をご参照の上、適切な安全対策を実施してください。
- ② 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等使用して湿気を避け、直接日光や雨が掛からないようシート掛けなどを施してください。
- ③ 降雨・降雪時の施工は行わないでください。
- ④ 気温 5°C 以下及び 5°C 以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
- ⑤ 固くなったモルタルへの再加水は行わないでください。
- ⑥ P コンエースは、練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- ⑦ P コンエースは、硬化前の雨水等による漏れは、白華 (エフロレッセンス) の原因となりますので注意してください。
- ⑧ P コンエースの品質保持期間は製造後 4 ヶ月です。